

【Q-STAR／大阪大学／富士通／経済産業省】 量子技術の最前線と産業化への方策

日 時 2026 年 8 月 28 日 (金) 午後 1 時～5 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

I. 量子技術の現在地と産業化への道筋

【13:00～13:55】

量子力学誕生より 100 年が過ぎ、世界各国が量子技術の産業化を加速する中、日本の現在地と国家成長戦略を概観する。量子コンピュータの進化、量子暗号通信や量子センシングの社会実装動向を踏まえ、Q-STAR が推進する三つの柱－ユースケース創出、産官学連携(G-QuAT・国際標準化・人材育成)、国際連携(ICQIA 等)－の取り組みを紹介し、量子技術の産業化への道筋を展望する。

1. 世界で加速する量子技術の産業化
2. 日本の量子分野成長戦略
3. 量子コンピュータ技術の進展
4. Q-STAR の活動
5. 産業化に向けた三つの取り組み
6. 質疑応答／名刺交換

一般社団法人量子技術による新産業創出協議会(Q-STAR)実行委員会 委員長

株式会社東芝 上席常務執行役員 最高デジタル責任者 岡田 俊輔 氏

II. 誤り耐性量子コンピュータへの挑戦

【14:00～14:55】

まず、量子コンピュータの原理と歴史を簡単に紹介し、量子コンピュータに本来期待されているスパコンを超える能力・アプリケーションとそれに必要な性能を述べる。次に、量子コンピュータの現状を紹介し、アプリケーションが要求する性能とのギャップを示す。その後、そのギャップを埋めるための量子誤り訂正とスパコンを超える大規模量子計算を可能にする誤り耐性量子コンピュータへの挑戦を紹介する。

1. 量子コンピュータの原理
2. 量子コンピュータの歴史
3. 量子コンピュータに期待されること
4. 量子コンピュータの現状
5. 量子誤り訂正と誤り耐性量子コンピュータへの挑戦
6. 質疑応答／名刺交換

大阪大学 量子情報・量子生命研究センター センター長・特任教授(常勤)／名誉教授

国立研究開発法人科学技術振興機構 ムーンショット目標 6 構想 ディレクター 北川 勝浩 氏

III. 富士通の量子×AI プラットフォーム戦略

【15:05～16:00】

富士通は、量子コンピューティングを単独の先端技術ではなく、AI・HPC と統合した次世代計算基盤として位置づけ、産業界・アカデミア・政府との共創により実用化を加速する。本講演では、その基盤上で産業別に最適化された AI を継続的に生み出すプラットフォームの構想を紹介する。加えて、データや計算基盤の自立性を確保する「ソブリン」の観点から、日本発の計算インフラが持つ意義・戦略を提示し、量子技術と AI の融合による新たな産業競争力創出の方向性を示す。

1. 量子コンピューティングの産業インパクト
2. 富士通の量子×AI×HPC 統合による次世代計算基盤
3. 産業特化 AI を生み出すプラットフォーム構想
4. ソブリンと次世代インフラ戦略
5. 産学官連携学による実用化とグローバル展開
6. 質疑応答／名刺交換

富士通株式会社 テクノロジビジネスマネジメント本部 本部長 岡井 純吾 氏

IV. 量子コンピュータの産業政策について(仮)

【16:05～17:00】

調整中

経済産業省 イノベーション・環境局 イノベーション政策課長 武田 伸二郎 氏

PROFILE 岡田 俊輔(おかだ しゅんすけ)氏

1985年 東芝入社。東芝デジタルソリューションズ取締役社長、東芝執行役上席常務 CDOなどを歴任し、現在は東芝上席常務執行役員・最高デジタル責任者としてグループ全体のデジタル変革と事業変革を牽引。ifLink オープンコミュニティ代表理事、Q-STAR 実行委員長も務め、幅広い産学官連携を通じて産業界におけるデジタル技術と量子技術の社会実装、新産業創出、国際連携等を推進している。

PROFILE 北川 勝浩(きたがわ まさひろ)氏

1981年 大阪大学工学部電子工学科卒。1983年 大阪大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。1983年 日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所研究員。1985年 NTT 基礎研究所研究員。1992年 同主任研究員。1993年 大阪大学基礎工学部助手。1994年 博士(理学)(大阪大学)。1996年 大阪大学基礎工学部講師。1997年 大阪大学大学院基礎工学研究科助教授。2003～24年 同教授。2018年 (株)QunaSys 共同創業。2020年より JST ムーンショット目標 6 構想ディレクターを兼務。2021年より 大阪大学量子情報・量子生命研究センター長/QuEL (株)共同創業。2024年より 大阪大学名誉教授/大阪大学量子情報・量子生命研究センター特任教授(常勤)。2025年より (一社)量子フォーラム 副代表理事。

PROFILE 岡井 純吾(おかい じゅんご)氏

富士通株式会社 テクノロジビジネスマネジメント本部長。量子コンピューティング事業の創成期より事業戦略の策定とグローバル展開をリードし、量子・AI・HPCを融合した次世代計算基盤の構築を推進。富士通研究所のビジネス運営を統括するとともに、欧州・米国・中国の研究所においてボードメンバーを務め、グローバルな研究開発戦略の策定と先端技術の社会実装を牽引。産学官連携によるイノベーション創出を通じて、量子技術が切り拓く新たな産業・社会の実現に取り組む。

PROFILE 武田 伸二郎(たけだ しんじろう)氏

準備中

- 受講料 各受講方法 1名につき 27,500円(税込)
※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金 11,000円(税込)で承ります。
- お申込方法 二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。
折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送り致します。
お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。
(セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参下さい)
※お客様の都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。
その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
- お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信下さい。

■ライブ配信について

- <1>Zoom にてライブ配信致します。
- <2>お申込時にご記入いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までに お送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について

- <1>開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
- <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。
- <3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

8月28日(金)

「量子技術の最前線と産業化への方策」

申込日 月 日

貴社名

所在地

〒

○印をお付けください (ご自宅・お勤め先)

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ□をお入れ下さい。)

☐ 会場受講

☐ ライブ配信

☐ アーカイブ配信

フリカナ
氏名

所属部署・役職

TEL

()

—

FAX

()

—

E-mail

ブロック体でのご記入をお願いいたします。

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄

詳細・お申込はこちら↓

■主催 公益財団法人 原総合知的通信システム基金

■事務局(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26415-I

